



令和7年(2025年)1月27日 公表
 令和6年版 山口県日本海側重要魚種の資源評価

カタクチイワシ(対馬暖流系群)

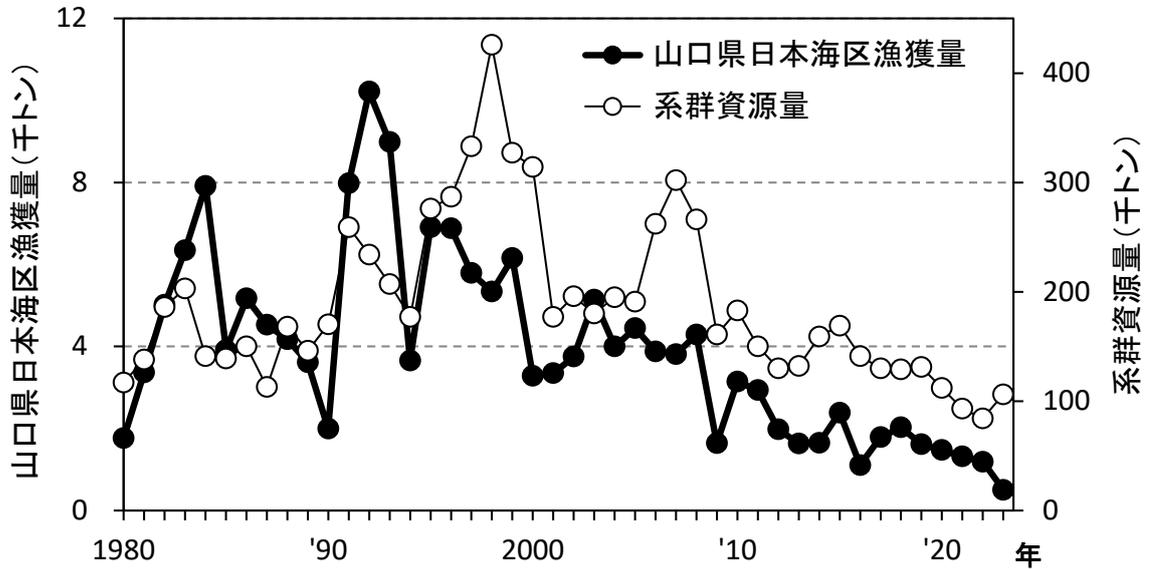


図 山口県日本海カタクチイワシ漁獲量(漁業・養殖業生産統計年報)及び対馬暖流系群カタクチイワシ資源量((国研)水産研究・教育機構 資源評価報告書)の推移

【漁業】カタクチイワシは主に棒受網・抄網によりほぼ周年漁獲されるほか、春と秋には船曳網によりシラス・カエリが湾内で漁獲される。

【漁獲量】山口県日本海区の漁獲量は、1992年の10,215トン进行ピークとして、その後は変動を伴いながら減少傾向にあり、2023年には503トンとなった。

【資源状態】資源量は1998年には42.6万トンと最高値を示した。その後減少に転じ2001~2005年には19万トン前後で推移した後、2007年には30.2万トンまで増加した。2009年以降は緩やかな減少傾向にあり、2022年は過去最低となる8.4万トンと推定されたが、2023年には10.6万トンとやや回復した。

2023年の親魚量(SB)は最大持続生産量(MSY)を実現する親魚量(SB_{msy}:目標管理基準値)を下回った。また、2023年の漁獲圧(F)はMSYを実現する漁獲圧(F_{msy})を下回った。

| 2023年漁獲量(万トン) | MSY(万トン) | 2023年親魚量(万トン) | 目標管理基準値(万トン) | 限界管理基準値(万トン) | 禁漁水準(万トン) |
|---------------|----------|---------------|--------------|--------------|-----------|
| 2.9 | 5.1 | 4.5 | 6.8 | 3.2 | 0.4 |